

研究課題名「アジア系アメリカ人および他人種における肝疾患の疫学、自然経過および臨床転帰」に関する情報公開

1. 研究の対象

当院に通院する肝疾患を有する18歳以上の患者

2. 研究目的・方法・研究期間

(研究目的)

アジア人において、B型ウイルスは末期肝疾患及び肝癌の主要な病原体になっており、またC型ウイルスは肝疾患罹患率および死亡率の主要な病原体になっています。我が国においてもすでに多くの研究がなされていますが、一方でアメリカ等の欧米諸国ではウイルス性肝炎患者の疫学研究(自然経過や治療効果を検討する研究)は非アジア人を対象とした研究が多く、いわゆるアジア系アメリカ人における肝疾患の疫学研究が不足しています。本研究では、米国スタンフォード大学との共同研究として、日本人を含むアジア人におけるウイルス性肝炎患者の疫学を検討、住んでいる国による環境の違いや、非アジア人に対する比較対象数を増やし、より正確なデータを収集することを目的としています。

(研究方法)

以下の項目を目的として、すでに保険診療内の治療が行われた患者さんの診療記録データを後ろ向き(すでに得られたデータを後から振り返って検討すること)に検討します。

1. 肝疾患に対する抗ウイルス療法の治療結果の比較、2. 主にアジア系患者における肝炎および他の肝疾患の疫学、3. 肝疾患の複雑化と肝細胞癌の発症率の予測、4. スクリーニング検査および予防対策と肝細胞癌発症率の関係性の調査、5. 肝疾患患者の治療結果の調査、6. ウイルス性肝炎を含む肝疾患決定要因および予防法の調査

(研究期間)

実施承認日～2025年7月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

データ収集は、すべて電子カルテ上に記載された医師記録、経過表、画像検査や採血検査の結果からのみとします。診療上採取されたデータのみで使用で新たに検査、診察等が追加されることはありません。

4. 外部への試料・情報の提供

データは共同研究施設であるスタンフォード大学に提供されることとなります。その際には個人が特定されないようにデータは匿名化され、特に提供先の機関には各々のデータが誰のデータであるかはわからないように配慮されます。

5. 研究組織

名古屋大学医学部附属病院 消化器内科

石上 雅敏

本多 隆

石津 洋二

今井 則博

伊藤 隆徳

山本 健太

スタンフォード大学 内科 消化器肝臓内科

Mindie Nguyen

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院 消化器内科 石上 雅敏

住所：〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

TEL：052-744-2169

FAX：052-744-2178